PR

総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムin長野〈報告〉

誰もが楽しめる、みんなのスポーツクラブを

子どもたちの体力向上、生涯スポーツの振興、国際競技力の向上―など、さまざまな期待を担う「総合型地域スポーツクラブ」の育成推進フォーラムが11月30日、長野市内で開催されました。

五輪金メダリストで参議院議員の荻原健司さんが「スポーツの力」と題して基調講演。パネルディスカッションでは、下伊那郡豊丘村の「とよおか総合型地域スポーツクラブ」の多彩な活動が紹介され、約210人の参加者は、「誰でも楽しめる」「地域の核となる社交場」といった総合型地域スポーツクラブの意義や課題に理解を深めました。

フォーラムは財団法人日本体育協会・財団法人長野県体育協会が主催、長野県広域スポーツセンター・信濃毎日新聞社・全国地方新聞社連合会が共催しました。

●基調講演

「スポーツの力」

参議院議員　荻原 健司氏

荻原 健司氏

【おぎわら・けんじ】参議院議員。1969年群馬県生まれ。ノルディック複合の選手としてオリンピック団体戦で2大会連続金メダル獲得。W杯では個人総合3連覇を含む通算19勝。2002年現役引退後、04年参院選で初当選、スポーツ振興や教育問題、環境問題に力を注いでいる。

今年、スポーツの分野で心に残ったのは、なんと言っても北京五輪です。

五輪を観客として見たのは4年前のアテネが初めて、次にトリノ（冬季）、そして今回―。女子レスリングの吉田沙保里選手が金メダルを取った瞬間は、感動で涙が止まらず、気づいたら観客席の一番前で日の丸を振っていました。男子100㍍の世界新記録の瞬間も観客席の一番上から見ました。スタート前、中国語で「用意」の声がかかると、10万人のスタジアムがしんと静まり返るんですね。鳥肌が立ちました。「スポーツの力はすごい」とあらためて思いました。

身をもって「スポーツの力」を感じたのは、16年前、アルベールビル冬季五輪初出場のときです。当時、日本でノルディック複合という競技を知る人は少なく、成田を出発するとき見送ってくれたのはスキー連盟関係者1人だけ。競技前半のジャンプで日本チーム金メダルの可能性が高まり、初めてマスコミ取材を受けたくらいです。しかし、翌日の後半距離で日の丸を振って1位でゴールインすると、マスコミが殺到しました。「日本中が沸いていますよ」と言われても、私たちには実感がありませんでしたが―。

成田に着くと、報道陣に囲まれてフラッシュを浴び、故郷の草津町に帰れば オープンカーが待っていて、町長と一緒にパレード。実家には全国からの手紙が詰まったダンボール箱の山。なかには、「金メダリスト荻原健司様」だけで届いているものもありました。書いている人の情熱が伝わってきました。

スポーツが拓く健康な社会

スポーツの力、オリンピックの力、メダルの力を実感しました。

引退して参議院議員になってからは、超党派のスポーツ議員連盟の一員として、「スポーツ振興法」に「スポーツ振興を国の責任で行う」という一行を加えたいと思って活動しています。

スポーツの力は、青少年の健全育成に役立つだけではありません。心の健康、身体の健康をつくり、それがすばらしいスポーツの力を社会全体に広げていきたい―と願っているのです。

その原動力となるのが、全国に生まれつつある総合型地域スポーツクラブだと思います。身近な施設を有効に活用し、指導者や施設管理者の人材を育成していく。そして誰もが気軽にスポーツを楽しめる社会を実現する―。日本のスポーツ界は今こそ自主性を発揮して、その課題に取り組んでいくべきだと思います。

総合型地域スポーツクラブ

身近な地域でスポーツを楽しむ機会を広げるとともに、地域の交流をはぐくむ役割も担う新しいタイプのスポーツクラブ。子どもから高齢者まで（多世代）、さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）―という特徴を持ち、地域住民により自主的に運営される。おおむね1中学校区（日常生活圏）に1クラブを設置し、学校や企業に頼ってきた日本のスポーツのあり方を変えていくことを期待されている。2008年7月1日現在、創設準備中を含めて全国1,046市区町村（57.8%）に2,768クラブがある。県内は11月1日現在31市町村に43クラブ（うち準備中は13）があり、設置率は38.3%。

●パネルディスカッション

「地域スポーツの楽しさ」

■パネリスト　荻原 健司氏（参議院議員）　酒井 浩文氏（とよおか総合型地域スポーツクラブゼネラルマネジャー）　黒須 充氏（福島大学教授）

■コーディネーター　伊倉 晶子氏（（財）日本体育協会中央企画班広報委員）

〝縦割り〟の壁超える期待も…… お祭り感覚で皆の社会場に……

酒井 浩文氏

【さかい・ひろふみ】とよおか総合型地域スポーツクラブゼネラルマネジャー。1965年長野県生まれ。88年ソウルオリンピック20㌔競歩代表。ウオーキング・ランニング、健康づくりの指導や健康づくりコーディネーターとして活躍。2008年3月、豊丘村に総合型地域スポーツクラブを設立し、運営や他地域への推進活動に奮闘中。

伊倉　理念への共感がないと人は集まりません。全国の総合型地域スポーツクラブは、どのような理念を掲げているのでしょうか。

黒須　地域が違えば当然、理念も違ってきます。「スポーツの機会を広く提供する」「子どもに生きる力を伝える」「障害者を積極的に受け入れる」など、理念はさまざまですが、共通して言えるのは、これまでの競技大会をめざす技術練習型のクラブとは明らかに違う目的を掲げている点です。

荻原　ヨーロッパのスポーツクラブは地域型で、一種の「社交場」です。クラブハウスには、スポーツをしない人も集まります。お年寄りがカードゲームをしていたり、酒を飲んだり、読書している人もいる。仲間がいるから、子や孫がいるから―と多くの人が集まり、思い思いの時間をそこで過ごすわけです。

酒井　僕が豊丘村でやりたいのもそれです。〝お祭り感覚〟ですね。クラブはおみこしで、いろいろな人が担ぐ。見物客も大事で、それぞれが楽しめるといい。子どものクラブ活動に親がついてくると、そこに社交場が生まれます。子どもをダシに交流会をやるのですが、スポーツで汗をかいてから一杯やる、これが心の健康にとてもいい。スポーツは間違いなく地域交流の核になります。

伊倉　豊丘ではクラブの出前もあるそうですね…。

酒井　近隣町村の依頼で、幼児運動教室をしています。

伊倉　それなら「中学校区に1つ」という文科省の目標にこだわらなくてもできますね。

酒井　僕らのクラブには、エンジョイ系、アスリート系、健康づくり系、脳育系、合わせて12クラブがあって、幼児運動教室はエンジョイ系です。脳育系はちょっと変わり種で、算数と英会話の教室。シルバー人材活用で、放課後の子どもを預かる発想で始めました。

荻原　1クラブで厚労省の介護予防事業も、文科省の放課後子ども教室事業もできてしまう。縦割り行政の無駄を省くにも、有効なツールですね。

黒須　確かにそうです。ただ、幹であるスポーツの定着をしっかりと行うことがまず大事です。その上で余力があったら、枝葉に当たる事業を考えるべきでしょう。

伊倉　子どもたちの体力向上や、健全育成をめざすクラブは多いですね。

黒須　需要は高いです。しかし、小さなうちから特定の種目にはめてしまうと伸びないというデータもあります。いろいろなスポーツを体験させ、バランスよく体力を育む―そんな視点が必要です。

伊倉　先日、農家にうかがった折、ビニールハウスでお茶をいただき、おしゃべりに花が咲きました。テントのクラブハウスもいいな、と思いましたが…。

黒須　身近に拠点となる「場」があれば、シルバー世代も集まりやすい。この層は、種目よりも健康ニーズが非常に高く、拠点づくりは大事です。

酒井　僕らは空き倉庫を自分たちで修繕してクラブハウスにしました。これから始めるなら、クラブハウスは絶対に作るべきです。それと人材。僕らはクラブの子どもたちが指導者になって戻ってくることをめざしています。最初から完成型を求めない。変えながら永続させる視点が大事です。

黒須　スポーツは人類最大の発明品です。種目以前に文化である、というコンセンサスが必要です。これまで細切れで行われてきたスポーツを集約することで、日本のスポーツ文化は大きく変わる可能性がある。これが総合型の意義です。

伊倉　「総合型」の名称は堅苦しい。でも「社交場」なら肩ひじ張らずにできそうです。現場には多くの苦労があると思いますが、今は過渡期。私たちの手で日本のスポーツを変えていくんだという気持ちで、乗り越えていきたいですね。

「種目以前に文化」の共有…… 日本のスポーツを変える時……

黒須　充氏

【くろす・みつる】福島大学教授。1958年福島県生まれ。筑波大学大学院修士課程体育研究科修了。ドイツのスポーツクラブの概況や行政の支援策を日本に紹介。文部科学省中央教育審議会スポーツ・青少年分科会専門委員、（財）日本体育協会総合型地域スポーツクラブ育成委員会中央企画班班長。

伊倉 晶子氏

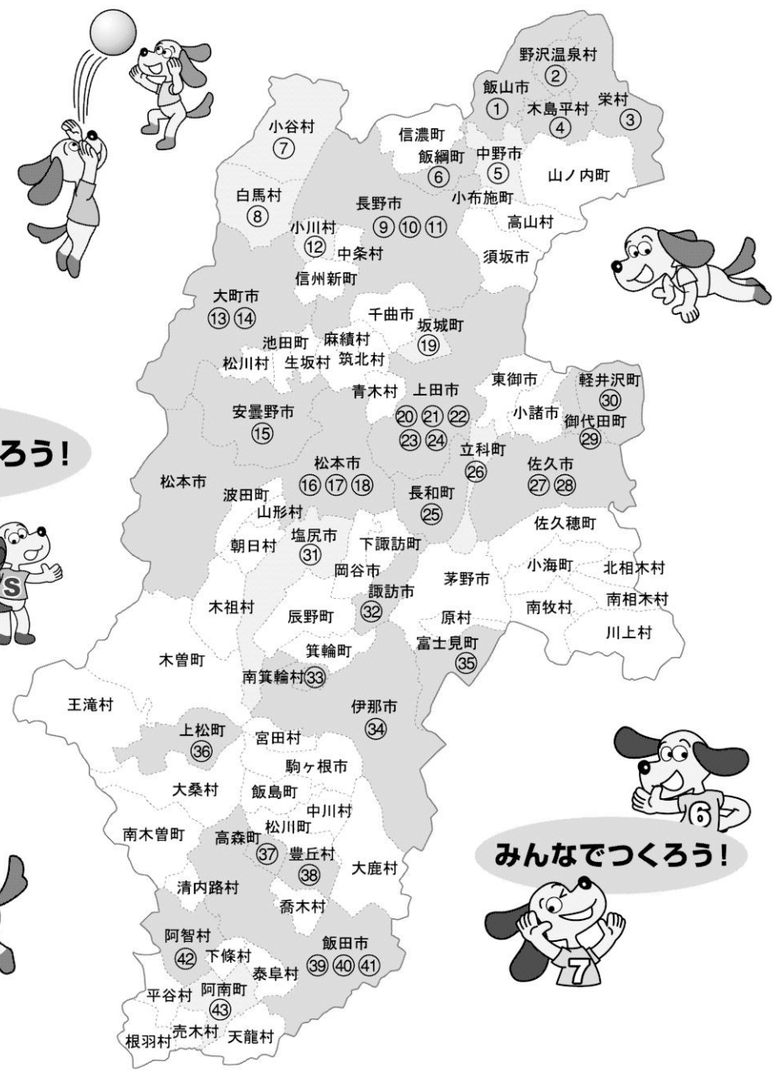
【いくら・あきこ】（財）日本体育協会中央企画班広報委員。神奈川県生まれ。（財）日本レクリエーション協会で生涯スポーツ推進業務に携わる。2000年、埼玉県志木市に総合型クラブ「NPO法人クラブしっきーず」を立ち上げ、マネジャーとして運営に従事。07年から東京都体育協会クラブ育成アドバイザーも務める。

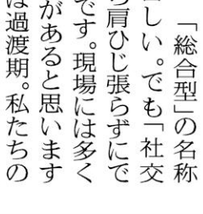
●主催／財団法人 日本体育協会、財団法人 長野県体育協会　●共催／長野県広域スポーツセンター、信濃毎日新聞社、全国地方新聞社連合会　●後援／長野県教育委員会、長野市教育委員会、長野市体育協会

文部科学省委託事業
総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

長野でも続々誕生！ 総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、
生命力や活力を与えてくれるとともに、
健康で豊かなライフスタイルを構築し、
夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。
「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」を合言葉に、
今、総合型地域スポーツクラブづくりが
長野県の各市町村で取り組まれています。
総合型地域スポーツクラブは、地域の子どもからお年寄りまで、
より多くの人がスポーツ活動に参加し、健康づくりや青少年の健全育成、
そしてコミュニティづくりを目指す活動です。
住民一人ひとりが主役である『総合型地域スポーツクラブ』を
皆さんの手でつくり、参加してみませんか？





長野県総合型クラブ取り組み状況（平成20年11月1日現在）

市町村名	クラブ名
飯山市	①菜の花SUNクラブ
野沢温泉村	②野沢温泉スキークラブ
栄村	③さかえスポーツクラブ
木島平村	④ENJOY ふう太クラブ
中野市	⑤中野南部総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
飯綱町	⑥いいづなスポーツクラブ
小谷村	⑦小谷村総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
白馬村	⑧白馬村総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
長野市	⑨長野スポーツコミュニティクラブ東北
	⑩ゆたかのスポーツクラブ
	⑪ながの国際交流スポーツクラブ（設立準備中）
小川村	⑫ワールドスポーツクラブ小川（設立準備中）
大町市	⑬大町スポーツクラブ
	⑭NPO法人ジムナスティック・ネットワーク
安曇野市	⑮スポネット常念
松本市	⑯NPO法人アルウィンスポーツプロジェクト
	⑰アルプスすぽーつくらぶ安曇
	⑱丸ノ内スポーツクラブ
板城町	⑲坂城町総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
上田市	⑳さなだスポーツクラブ
	㉑たけしスポーツクラブ
	㉒うえだ総合型地域スポーツクラブUSC
	㉓菅平スポーツクラブ（設立準備中）
	㉔オヤジ改造倶楽部（設立準備中）
長和町	㉕ながわスポーツクラブ
立科町	㉖蓼科総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
佐久市	㉗もちづき総合型スポーツクラブ
	㉘佐久市岸野スポーツクラブ（設立準備中）
御代田町	㉙NPO法人あさまハイランドスポーツクラブ
軽井沢町	㉚NPO法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ
塩尻市	㉛塩尻北小野総合型地域スポーツクラブ（設立準備中）
諏訪市	㉜諏訪市ベタンククラブ
南箕輪村	㉝NPO法人南箕輪わくわくクラブ
伊那市	㉞伊那市総合型地域スポーツクラブ
富士見町	㉟富士見町地域スポーツクラブ
上松町	㊱木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ
高森町	㊲柿の里S・Cクラブ
豊丘村	㊳とよおか総合型地域スポーツクラブ
飯田市	㊴高陵地区文化スポーツ活動運営協議会
	㊵竜峡スポーツスクール（活動休止中）
	㊶南信州クラブ（設立準備中）
阿智村	㊷チャレンジゆうAchi
阿南町	㊸阿南町総合型スポーツクラブ（設立準備中）

※他にも設立に向けて準備中の市町村もあります。

SCステーション　クラブづくりの意義やサポート体制、全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。http://www.japan-sports.or.jp/local/

●お問い合わせ先
（財）長野県体育協会・・・・・・・・・TEL 026-235-3483　ホームページ http://www1.odn.ne.jp/nasa/
長野県広域スポーツセンター・・・TEL 0263-86-0218 ／（財）日本体育協会 クラブ育成課・・・TEL 03-3481-2278